

会 議 録

会 議 名	東松山市平和推進懇話会					
開 催 日 時	令和6年5月31日（金）			開 会	午後2時00分	
				閉 会	午後2時40分	
開 催 場 所	東松山市総合会館1階多目的室					
会 議 次 第	1 開会 2 内容 (1) 平和都市推進事業の経緯について (2) 令和5年度事業報告について (3) 令和6年度事業計画（案）について (4) その他 3 閉会					
公開・非公開の別	公開		傍 聴 者 数	0人		
非公開の理由 (非公開の場合)						
参加者出欠状況	参加者	大木 剛	欠席	参加者	関 克巳	出席
	参加者	関口 昭彦	出席	参加者	中嶋 亮順	欠席
	参加者	関根 克巳	欠席	参加者	渡邊 千尋	出席
	参加者	田中 辰弥	欠席	参加者	水野 博行	出席
	参加者	岡部 健	出席	参加者	明 栄子	欠席
	参加者	大屋 聡佐	出席			
事務局	総務部部長 中嶋 和則			総務課課長 福田 誠		
	総務課副課長 高坂 靖子			総務課主任 松下 友賀利		



(3)令和6年度事業  
計画(案)について

(福田課長)

それでは質疑を終了し、次の議題に移らせていただきます。  
続きまして、議題3「令和6年度事業計画(案)について」、事務局より説明をいたします。

(説明・資料の11～13ページを松下主任が説明)

(福田課長)

令和6年度事業計画(案)について説明が終わりました。この件について御質問・御意見はございますか。

(関氏)

市制施行70周年として、冠を付けたり、記念の年として何か配布する計画はありますか。

(事務局)

70周年の冠を付けてやることは考えています。しかし、70周年として作成しているグッズがなく、また配布数も多いことから今のところ配布できるものではありません。この事業に限らず、他のイベントでも行っていることであるため、冠を付けて行っていきたいと考えています。

(関氏)

70周年として案内すれば、応募が増えるのではないか。

(事務局)

意見を参考に、参加賞はこれから発注するものであるため、予算のこともありますが、工夫して行っていきたいと考えます。

(渡邊氏)

平和賞の作文の募集対象について、市内在住学在勤の一般の方となっています。高校生などの若者の戦争や平和に関しての意

識が高まっていると感じるが、対象として入っていないことに違和感があります。

(事務局)

作文の応募対象について、高校生は市内在住在学在勤の一般に入っています。絵画の場合は、高校生と一般の表彰を分けているため、分けた応募表記になっています。作文の応募表記については、検討させていただきます。

絵画は、高校生からの作品点数は多いので、作文についても応募チラシ等の表記の仕方について工夫いたします。

(水野氏)

平和賞の応募数を見ると、学校によって応募数に差があり、特に新宿小は、教育に対して頑張っているイメージだが応募数が少なく感じます。

(事務局)

学校には、募集チラシを配布し、夏休みの宿題の一つとして生徒が選んで、書いて提出してもらっています。

応募数の傾向としては、特に青鳥小は丸木美術館の丸木俊さんの壁画があるため、平和に対する意識が高く、応募数が一番多いというのが現状です。少しでも平和について考えていただく機会を持てるよう、例えば平和賞では絵画展を1週間ほど開催し、多くの方に足を運んでいただく、また戦没者追悼平和祈念式典につきましても、多くの方にご出席していただき、平和について考える時間を持ってもらえるためにも、平和について考えてもらえる機会を増やせるような努力していきたいと考えます。

(福田課長)

他にございますか。

<p>(4)その他</p>	<p>(参加者一同)</p> <p>なし</p> <p>(福田課長)</p> <p>それでは、議題4「その他」についてですが、参加者の皆様からお知らせ等がございますか。</p> <p>ここで、渡邊様から資料をいただいておりますので、ご説明をお願いいたします。</p> <p>(渡邊氏)</p> <p>今年戦後79年、来年80年という節目に向かって、3年計画として、遺族会の一番の願いである、二度とこのような遺族を作ってはいけないということを、どう皆さんに今後守ってもらうかについて、平和の語り部運動をスタートさせました。5月27日、「東松山市遺族会令和6年総会記念行事 平和の語り部座談会」では東松山市長にご出席していただき、第1回目として86歳の東松山遺族会のメンバーが、30分ほど戦後小学生のときについて、食べ物の話や学校の様子を話してもらいました。来年80年の年であり、令和7年度の要望として、小学校の授業の一部でできないか我々も準備をしようと思っています。今年度は、試験的にでも学校の授業の時間をもらって、やりたいと考えるのがいかがでしょうか。</p> <p>(事務局)</p> <p>本日は、元校長先生の委員がいらっしゃいますので、いかがでしょうか。</p> <p>(関口氏)</p> <p>4年、5年前に新宿小学校の校長をやらせてもらっていました。毎年平和資料館に学年で行って、その後は作文を書かせたり等行っています。校長会等で説明するのはいかがでしょうか。</p> <p>本当にいつ戦争が日本に巻き込まれてもおかしくないような時代に入り、ぜひ平和について子供たちに考えてほしいと思います。</p>
---------------	---

<p>3 閉 会</p>	<p>とても素晴らしい事業なので、校長会で語り部について話してもらうのはいかがでしょうか。子供たちに日本平和の大切さを知ってもらい、話し合う機会を作ってほしい。平和賞の作文を読んで、家庭によって平和への意識に差がある。賞を取った家族は、毎年家族で話し合ったり、広島へ行ったりと平和に対して関心の高い家庭があるので、そこの生徒は語り部の話を聞いて、反応が良かったり、友達同士で話しをしたりとつながっていくと思います。</p> <p>(岡部氏)</p> <p>市P連の理事会に小中学校の校長先生や教頭先生が参加しますので、会議の中でも話しておきます。</p> <p>(事務局)</p> <p>校長会につきましては、遺族会の方からこのようなご提案があったことを総務課の方から説明します。</p> <p>他にございますか。</p> <p>(参加者一同)</p> <p>なし</p> <p>(福田課長)</p> <p>それでは、以上で本日本日予定していた内容は全て終了しました。皆様には議事の円滑な進行に御協力いただき、ありがとうございました。</p> <p>第2回懇話会については、2月頃を予定しています。事務局で調整の上、御案内します。皆様には、御多用のところ御出席いただき、貴重な御意見をいただき誠にありがとうございました。</p> <p>今後とも、本市の平和都市推進事業にお力添えをお願い申し上げます。</p> <p>以上をもちまして、令和6年度第1回東松山市平和推進懇話会を閉会します。</p>
--------------	---

本日は、誠にありがとうございました。

上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。

令和6年6月11日

署名者                      岡部 健          

署名者                      大屋 聡佐